

イーストスプリング インド投資マンスリー

2026年5月号

インド投資マンスリー
動画配信中！



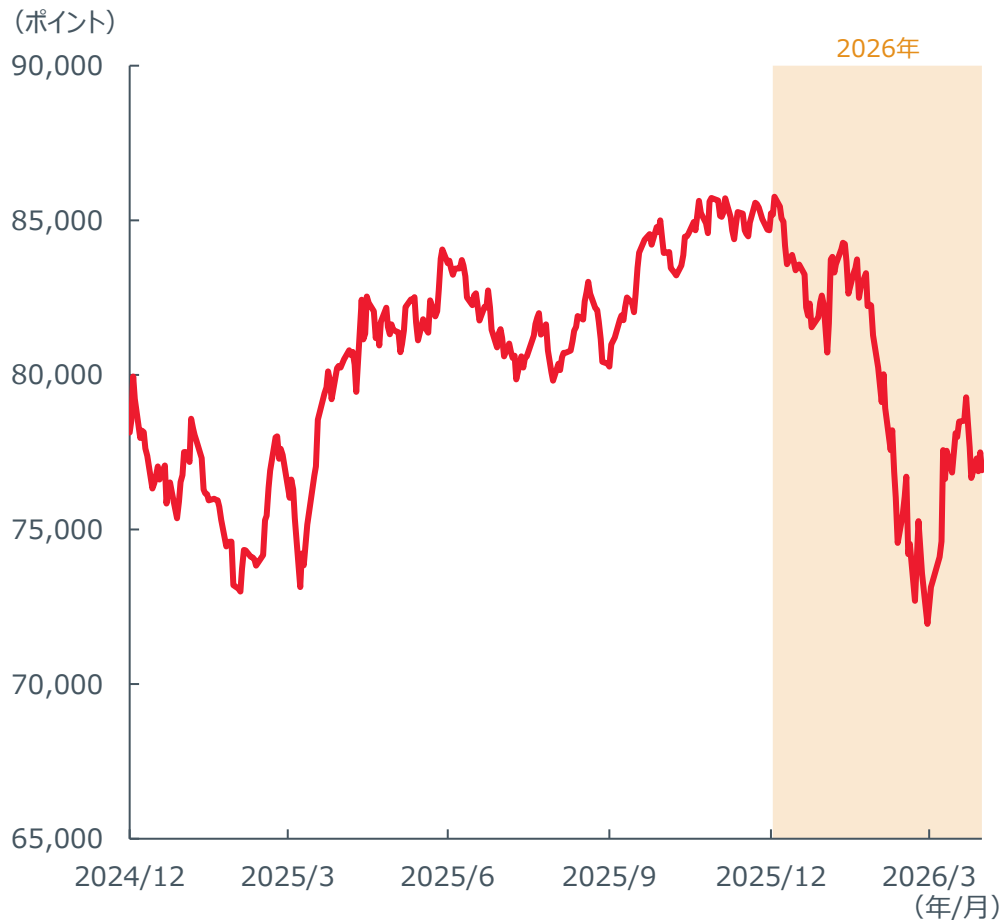
イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人資産運用業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社である
ブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

株式：地政学リスク後退を背景に上昇

SENSEX指数の推移 (2024年12月末～2026年4月末、日次)



2026年4月の振り返り

4月のインド株式市場（SENSEX指数）は、月間で6.9%上昇しました。中型株、小型株はそれぞれ13.8%、19.6%と大幅高となりました。

米国とイランの停戦合意および交渉進展を受けて地政学リスクが一時的に後退し、世界的にリスク選好が回復したことが市場の押し上げ要因となりました。加えて、AI関連投資の拡大を背景に米国株式市場が史上最高値を更新したことも投資家心理の改善につながり、インド株式市場にも追い風となりました。

セクター別では、すべてのセクターが上昇する中、公益事業、資本財・サービスなどが特に好調でした。一方で、ITセクターは、決算発表で今後の見通しが失望的であったことなどから相対的に上昇幅が限定的でした。

投資主体別では、外国投資家が3月に続き売り越しとなったものの、国内投資家は引き続き買い越しを維持し、インド株式市場を下支えました。

規模別指数の期間別騰落率 (2026年4月末時点)

	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	6.9%	-6.5%	-8.4%
中型株 (BSE中型株指数)	13.8%	2.1%	-1.9%
小型株 (BSE小型株指数)	19.6%	7.1%	-4.1%

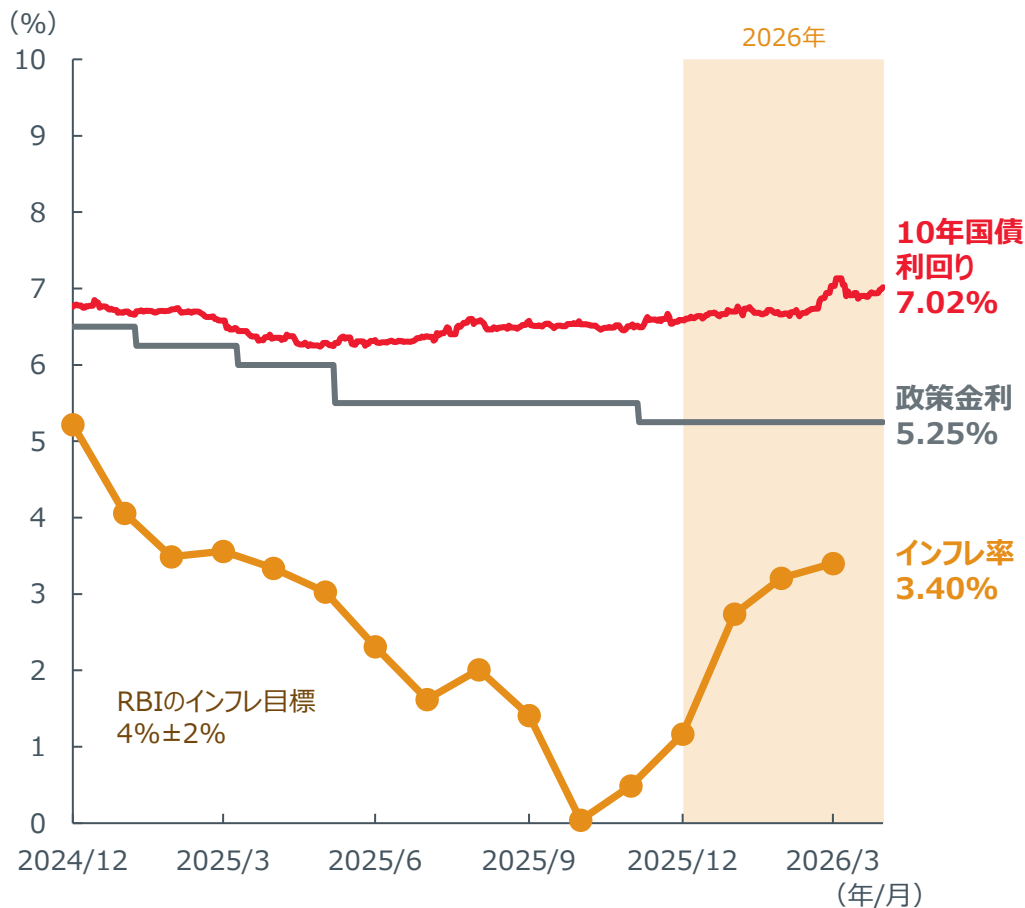
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

債券：10年国債利回りは小幅に低下、インフレ率は上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2024年12月末～2026年4月末、日次)



2026年4月の振り返り

4月のインド10年国債利回りは、月初に上昇したものの、米国とイランの2週間の停戦合意を受け原油価格が下落したことで利回りは低下し、月末時点では7.02%と前月末比で小幅に低下（価格は上昇）しました。

原油高による貿易赤字拡大、燃料補助金増加懸念からインドの財政・経常収支悪化への警戒感が利回りの押し上げ要因となりました。一方で、インド準備銀行（RBI、中央銀行）によるインド金融市場における潤沢な流動性供給の継続などが国債市場の下支え要因となりました。

4月13日に公表された3月のインフレ率は、前年同月比+3.40%と、2月の同+3.21%から加速しました。食品価格の上昇を背景にインフレ率は5か月連続で上昇したものの、引き続きRBIの目標レンジ内に収まっています。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2026年4月末	2026年3月末	変化幅
10年国債利回り	7.02%	7.04%	-0.02%
10年社債利回り***	7.50%	7.65%	-0.14%
利回り差	0.49%	0.61%	-0.12%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利。**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。2024年12月までは旧基準（2012=100）、2025年は新基準（2024=100）に基づく参考系列、2026年1月以降は新基準による正式系列を使用。2026年3月まで。***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA 10 Year Corporateの利回りを使用。利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

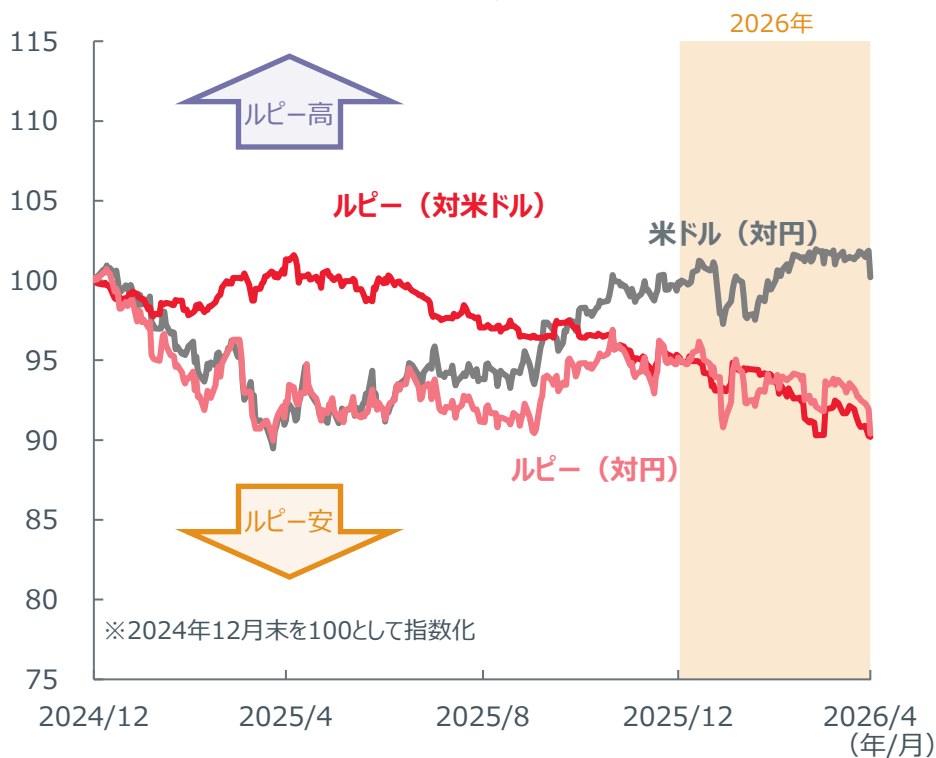
● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

為替：ルピーは対米ドル、対円ともに下落

- 4月のルピーは、対米ドルで0.1%、対円では1.5%下落しました。
- ルピーは対米ドル最安値圏で推移しています。一方、新興国通貨と比べて変動幅が小さく、中長期で見ると相対的に安定した動きとなっています。

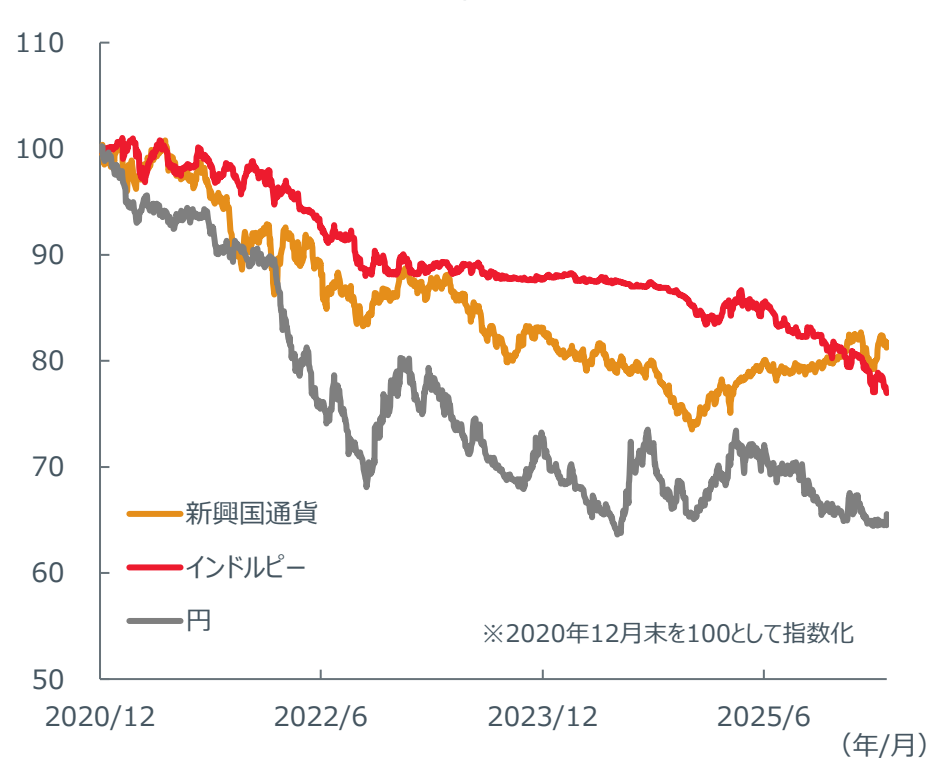
ルピー（対米ドル、対円）の推移

(2024年12月末～2026年4月末、日次)



新興国通貨*、ルピー、円（対米ドル）の推移

(2020年12月末～2026年4月末、日次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

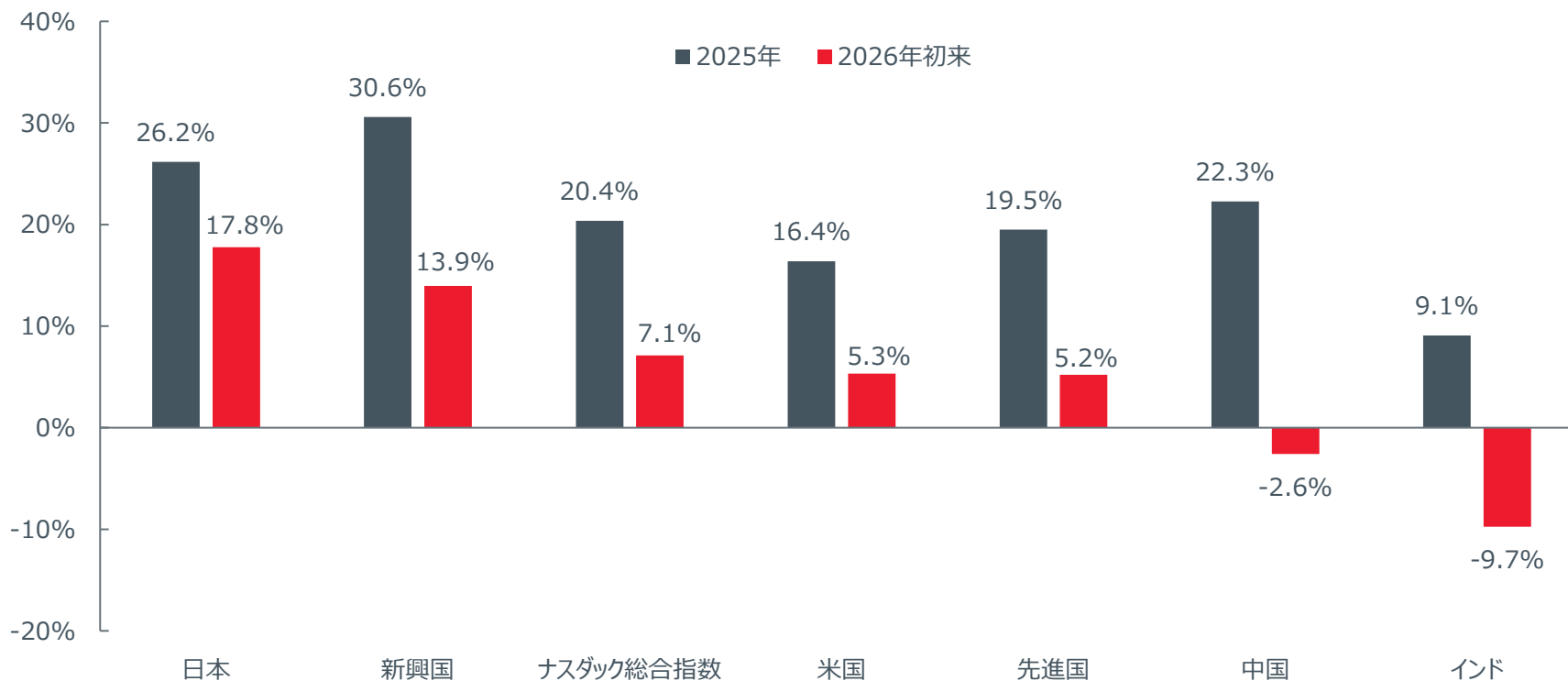
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*新興国通貨：JPモルガン・エマージング・マーケット・カレンシー・インデックス。

2025年、2026年共にインド株式は相対的に出遅れ

主な株価指数の騰落率

(2025年：2024年12月末～2025年12月末、2026年初来：2025年12月末～2026年4月末)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

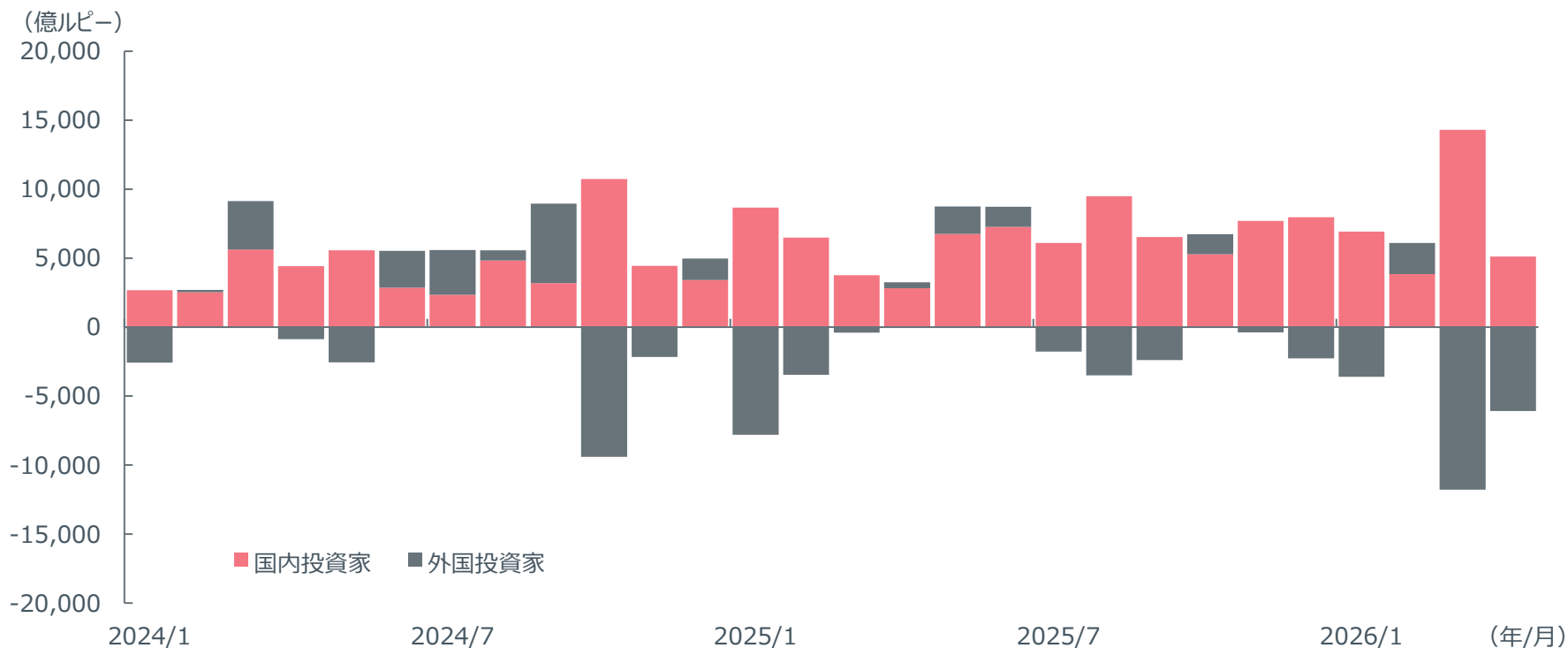
日本：日経平均株価、新興国：MSCIエマージング・マーケット指数、先進国：MSCIワールド指数、米国：S&P500種指数、中国：ハンセン中国企業株指数（H株）、インド：SENSEX指数。全てプライス・リターン、現地通貨ベース（先進国株、新興国株は米ドルベース）。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

外国投資家は2026年3月と4月にインド株式を大きく売り越し

国内投資家、外国投資家のインド株式市場への資金純流出入

(2024年1月～2026年4月、月次)



出所：BSE（ボンバイ証券取引所）、NSDL（国立証券保管機関）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

IMF『世界経済見通し』：インドは6%台半ばの成長を予想

- IMF（国際通貨基金）は、4月に公表した「世界経済見通し」において、中東情勢の悪化に伴う地政学的リスクの高まりを受け、世界のGDP成長率見通しを2026年は3.1%、2027年は3.2%とし、2026年については前回（2026年1月時点）から下方修正しました。エネルギー価格の上昇やインフレ圧力の再燃、金融環境の引き締まりが成長の重しとなる一方、AIを含むテクノロジー関連投資に加え、米国などの先進国や中国といった大規模経済圏における底堅い内需が下支え要因とされています。また、地政学的緊張の長期化やエネルギー価格動向の不確実性を背景に、見通しに対する下振れリスクが指摘されています。
- インドについては、2026年・2027年ともに6%台半ばの比較的高い成長率が見込まれており、2025年の堅調な成長や、対米追加関税の引き下げなどが下支えとなっています。中東情勢による悪影響は残るものの、引き続き世界経済の成長を支える主要な牽引役の一つと位置づけられています。

主要国・地域の実質GDP成長率見通し

（2025年～2027年、単位：%、ポイント）

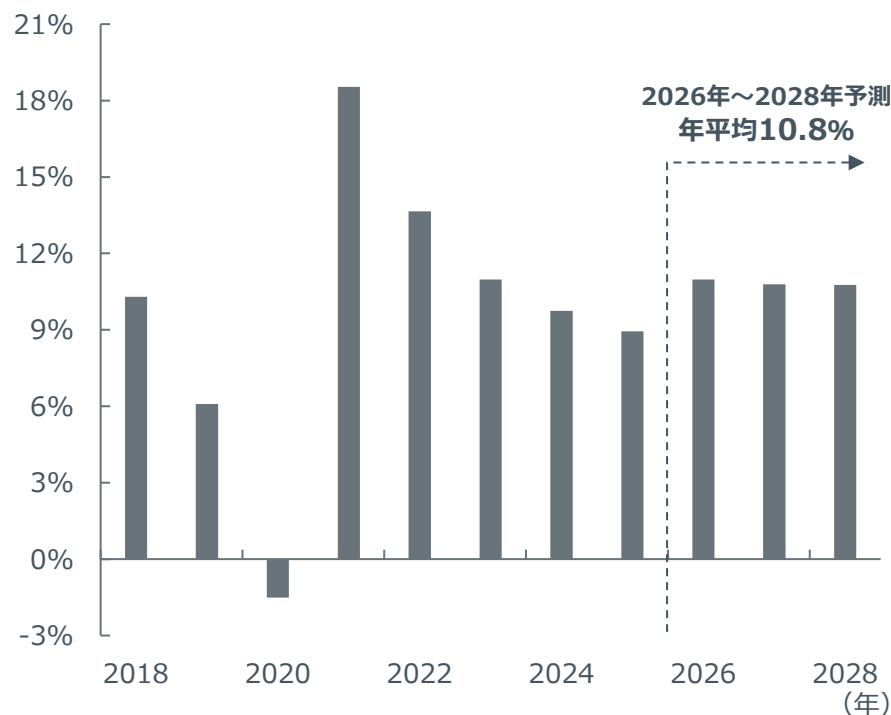
	2025年	2026年 <予測>	2027年 <予測>
世界	3.4	3.1 (-0.2)	3.2 (0.0)
先進国・地域	1.9	1.8 (0.0)	1.7 (0.0)
米国	2.1	2.3 (-0.1)	2.1 (0.1)
ユーロ圏	1.4	1.1 (-0.2)	1.2 (-0.2)
日本	1.2	0.7 (0.0)	0.6 (0.0)
新興国	4.4	3.9 (-0.3)	4.2 (0.1)
インド	7.6	6.5 (0.1)	6.5 (0.1)
中国	5.0	4.4 (-0.1)	4.0 (0.0)

出所：IMF世界経済見通しデータベース（2026年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※カッコ内の数値は2026年1月時点からの修正幅。

名目GDP成長率および利益の伸びは回復が予想される

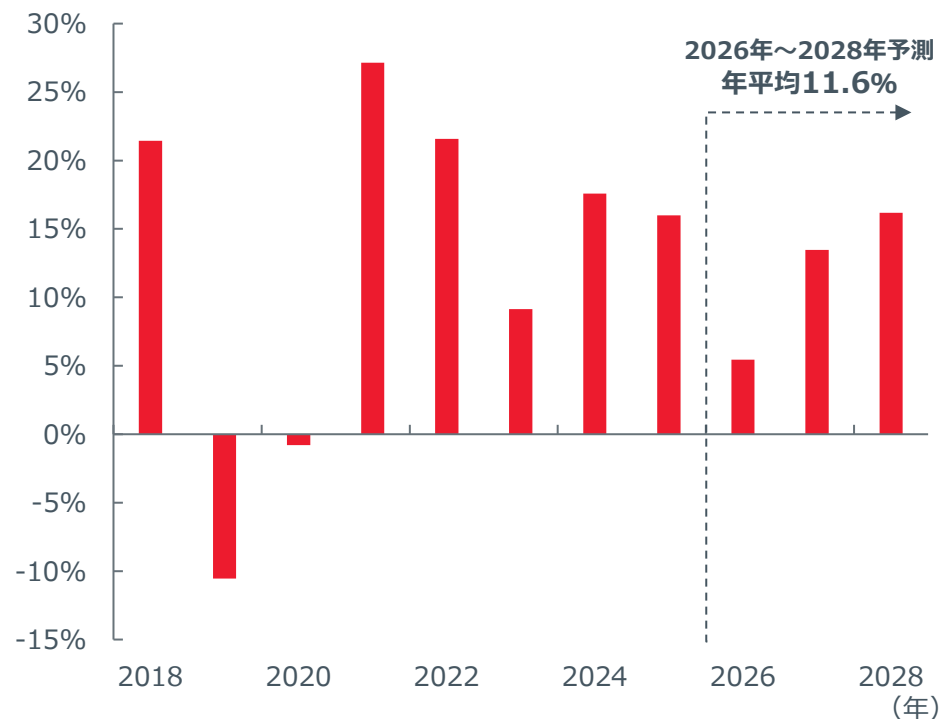
インドの名目GDP成長率（前年比）

（2018年～2028年）



インド株式の1株当たり利益予想の伸び率

（2018年～2028年）



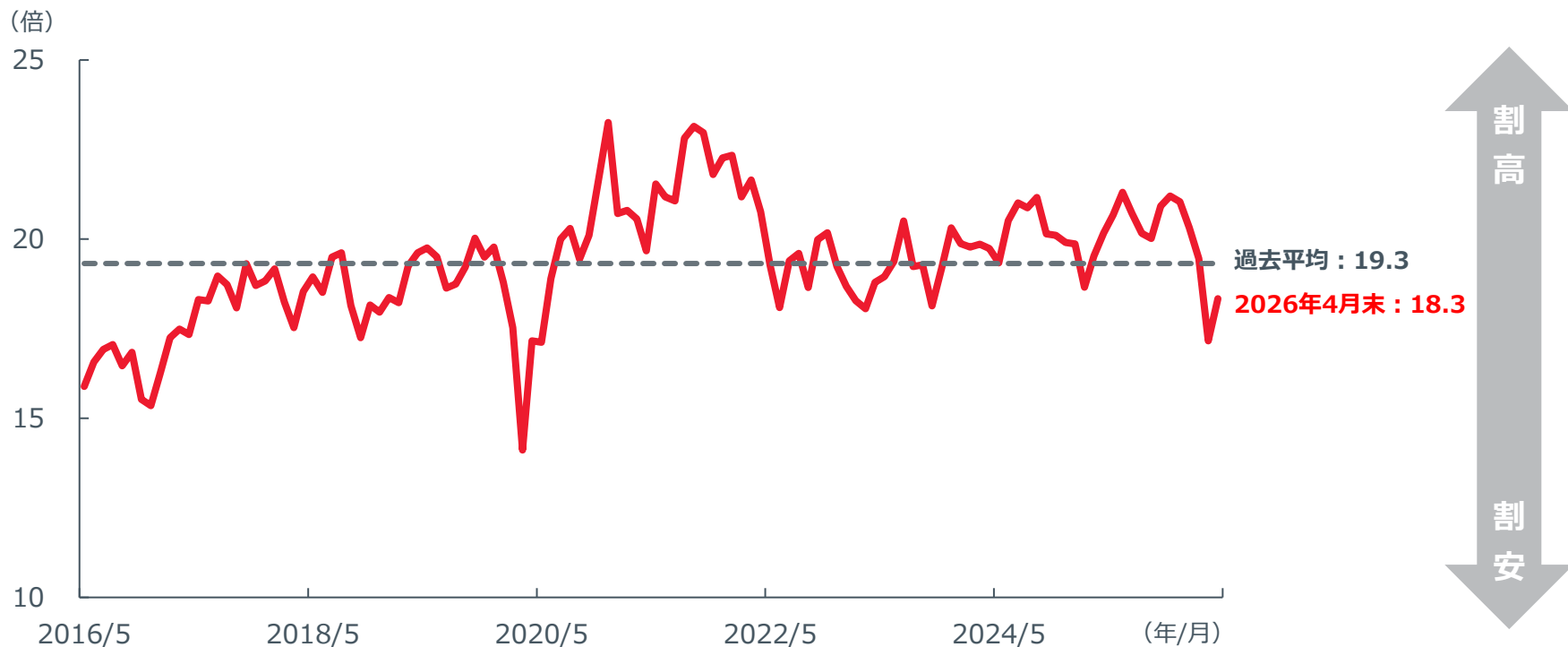
出所：IMF世界経済見通しデータベース（2026年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。2026年以降は予測値。

出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※インド株式：MSCIインド指数。2026年以降の1株当たり利益（EPS）は2026年4月30日時点のBloombergコンセンサス予想。

インド株式は過去平均（10年）と比較すると割安な水準

インド株式のバリュエーション（予想PER）の推移

（2016年5月末～2026年4月末、月次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※インド株式：SENSEX指数。予想PERは1年先の企業利益予想に基づく株価収益率。

2000年以降21カ年は最大10%超下落も21カ年は年間プラス

インド株式の2000年以降の年間最大下落率と年間騰落率

(2000年～2025年)

年	年間最大下落率	年間騰落率
2000	-39.4%	-20.6%
2001	-41.4%	-17.9%
2002	-23.7%	3.5%
2003	-13.7%	72.9%
2004	-27.3%	13.1%
2005	-12.7%	42.3%
2006	-29.2%	46.7%
2007	-15.3%	47.1%
2008	-59.5%	-52.4%
2009	-21.0%	81.0%
2010	-10.8%	17.4%
2011	-26.2%	-24.6%
2012	-13.5%	25.7%
2013	-11.8%	9.0%

年	年間最大下落率	年間騰落率	
2014	-6.9%	29.9%	✓
2015	-16.1%	-5.0%	
2016	-12.3%	1.9%	
2017	-4.3%	27.9%	✓
2018	-14.3%	5.9%	
2019	-10.4%	14.4%	
2020	-38.1%	15.8%	
2021	-9.6%	22.0%	✓
2022	-16.2%	4.4%	
2023	-6.9%	18.7%	✓
2024	-10.1%	8.2%	
2025	-8.7%	9.1%	✓
過去26年間の平均	年間最大下落率 (単純平均) -19.2%	年平均上昇率 (CAGR) 11.5%	

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※インド株式：SENSEX指数、現地通貨ベース、プライス・リターン。

※青ハイライトは年間騰落率がプラス、赤ハイライトは年間騰落率がマイナス、✓は年間最大下落率が-10%を下回った年。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※MSCI 指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※JPMorgan・エマージング・マーケット・カレンシー・インデックスはJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。